

令和 4（2022）年度
学校関係者評価報告書

2023 年 7 月

学校法人 八文字学園

 水戸看護福祉専門学校

■令和 4（2022）年度 学校関係者報告書

学校法人 八文字学園 水戸看護福祉専門学校は、学校評価に関する関連法令等に基づき、学校関係者評価委員会を設置し、「令和 4（2022）年度自己評価報告書」（令和 5 年 3 月作成）を基本にした学校関係者評価を実施しましたので、下記の通り報告します。

今後も、学校関係者評価の結果を踏まえ、学校関係者と連携・協力し、教育水準の向上、学校運営の改善、強化に取り組んで参ります。

1. 対象期間

令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日

2. 実施日時・会場

令和 5 年 3 月 22 日（水）14：00～15：30 水戸看護福祉専門学校 視聴覚室

3. 実施方法

- (1) 学内に「学校関係者評価委員会」を設置し、委員会を中心に評価を行っています。
委員会構成：委員長 学校長
委員 看護部長（企業等）、卒業生、地域住民、専門家、
副校長、副校長補佐、教務部、学校事務局
- (2) 評価は「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考に行っています。
- (3) 評価は、年一回年度末に行います。
- (4) 評価結果の公開は、本報告書をホームページに掲載することにより行います。

学校関係者評価委員

氏名	所属
廣木 とよ子	医療法人 蔦会 アイビークリニック（企業等）
菱沼 奎弥	独立行政法人 国立病院機構 水戸医療センター（卒業生）
小幡 知史	特定非営利活動法人 だいち（地域住民）
生越 達	茨城大学 大学院 教育学研究科（専門家）
小笠原 尚宏	常磐大学 人間科学部（専門家）

4. 自己評価の項目

自己評価は、以下の 11 項目について実施します。

- (1) 教育理念・目的
- (2) 学校運営
- (3) 学校活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境



- (7) 学生の受け入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献
- (11) 国際交流

5. 評価項目に対する評価

評価は評価委員が評価した「4 適切」「3 ほぼ適切」「2 ほぼ不適切」「1 不適切」「0 無該当」の平均値で記載します。

■基準1 教育理念・目的 評価3.8

- ・学生の個性を尊重し、自ら考えて目標に向かえるような支援が盛り込まれ、卒業後の社会参加において課題に向かえる人材の育成が期待できる。
- ・時代に合わせた理念・目的・目標が明確化されている。
- ・教育理念・目的・目標のすべては内容的に適切であると考えられる。しかし、それらを体現することについては、大きな課題があるとも感じた。
- ・「個別最適な学び」「協働的な学び」ということが言われているが、教育理念・教育目的はそれに添っていて、現代的課題に対応できるものになっていると思う。しかしカリキュラムポリシーがそれに沿って成立しているかどうか気がなった。またそれを「ともに育てる存在」としての保護者等に向けてどう周知するかも大切だと思う。
- ・八文字学園内他校との連携、学生サービスの統合があってもよいのではないかと。本校の独自性を厚生労働省が示すカリキュラムの中でどのように表すのかが問われているように感じる。

■基準2 学校運営 評価3.2

- ・情報システム化がなかなか進まない現況はあるが、既存のデジタル資源を活用しながら業務の効率化を図る取り組みは、SDGs 的視点で無駄のない支援策と見ることができる。
- ・業務の効率化が容易でないことは理解できる。評価内容から、現時点で出来る限りの効率化も進められていることが理解できた。
- ・問題点は挙げられているものの、そのそれぞれにおいて改善策が明示されていない。また、教員への負担増が改善されない現状も大きな課題である。
- ・人事・給与等について横並びにすることは大切だと思うが、教員確保のためには、それにふさわしい人事・給与の在り方を実現することが必要。その方向で努力してほしい。

■基準3 教育活動 評価3.0

- ・カリキュラム編成について、全国的な看護領域ニーズや茨城県内の状況も踏まえて検討されている。教員採用の困難さ・苦慮が見えるが、処遇のみならず、魅力ある職場づくりに取り組む姿勢、教員研修にも力を入れている部分が大切な視点と考える。
- ・今年度から新カリキュラムとなり、方針の変更など大変だったと思う。その中で教員の研修機会がつけられたのは良かったと考える。
- ・問題点は種々挙げられているが、具体的な改善策が明示されていないことが大きな課題。
- ・一方では良い授業をするために教員確保が必要だが、もう一方では学生による授業評価を実施することにより、授業の質を上げていくことも必要ではないかと思う。また研修時の時間も大切である。
- ・実習のオンライン実施など、コロナ対応を前提とした試行が必要だと感じた。

■基準4 学修成果 評価3.8

- ・国家試験不合格者を卒業後2年までフォローするという点においては、卒業生を大切にし、一人でも多く社会貢献できる人材の育成に取り組んでいると感じる。
- ・卒業生とのコミュニケーションや転職相談を積極的に行えている学校は少ない現状であり、本校は十分な卒業フォローができていると思う。よって、自己評価はもっと高得点であってもよい。
- ・卒業生のフォローアップがもっと充実すると、より良いと思う。
- ・丁寧な指導がなされているように思う。これからの教育施設は卒業後の対応（相談できる場所）が大切であるので、より一層充実させてほしい。
- ・SNSの活用による卒業生の動向把握はユニークでよいと思う。

■基準5 学生支援 評価3.0

- ・感染対策の影響で臨地実習が少ないなか、学園行事に積極的に参加させることにより、臨地実習以外にも人間形成の機会が確保できている（学外活動の充実）と感じる。
- ・学園全体として、学生支援は十分に行えている。
- ・新型コロナの問題が終わりつつある現状であるが、来年度は必然的に良い変化がありそうなので期待している。
- ・発達障害者の入学なども増え、学生支援は難しくなっていると思うが、個別最適な学びへの対応などを含め、一層充実させてほしい。
- ・課外活動の活性化は退学抑制のためにも有効ではないかと思う。ある程度の働きかけは必要ではないか。

**■基準 6 教育環境 評価 3.0**

- ・感染対策を視野に、空き部屋を利用した学ぶ場の確保や、コミュニケーションをとりやすい場の確保などの工夫がされている。防犯・防災対策の指導も充実している。
- ・教育環境は年々良くなっている。グループワーク室は良い設備であるので、今後の有効活用に期待している。
- ・質問への返答から「来年度は大きく改善される」と感じたので、期待したい。
- ・コロナ禍においては難しいが、主体的に学習するスペースを用意することは大切である。特に女子学生は、学び合いが学習効果の向上に大きく寄与すると考える。
- ・八文字学園全体として、自学自習のための施設が欲しい。

■基準 7 学生の受け入れ募集 評価 3.8

- ・アドミッションポリシーでは看護を学ぶ目的を明確に示しており、学納金も含めて学業の継続とその立地条件から地域の医療介護人材の確保に貢献できると考える。
- ・入学者選抜基準を見直し、学力水準の維持・向上ができています。学校・学園広報は十分である。
- ・アドミッションポリシーに沿った受け入れ募集ができていますことは大切だと思う。

■基準 8 財務 評価 3.8

- ・会計監査があり、厳格な予算編成体制も講じられている。
- ・公開も含め、適切に運用されていると思う。

■基準 9 法令等の遵守 評価 3.8

- ・学校経営上、重要な点であり、適切になされている。今後ますます重要になると思うので、常に研修等でアップしていく必要があると考える。

■基準 10 社会貢献・地域貢献 評価 2.8

- ・新型コロナ問題もあり、積極的な活動が出来ないなか、学生主体でのボランティア活動などに関しては適時相談体制がある。
- ・感染症問題があるなかで最大限の地域・社会活動はされていると考える。社会人になるうえで、社会活動などの機会は増やしていった方が良いと思う。
- ・教育理念においても地域住民について言及があることから、地域に開かれた講座をすべきと考える。
- ・ボランティア経験はキャリア形成にとって大切な意味を持っている。可能性をさらに探っ

てほしい。

- ・公開講座の実施等、社会貢献を行う方策もあるのではないかと。

■基準 11	基準 11	国際交流	評価なし
--------	-------	------	------

- ・留学生の受け入れは、行っていない。

以 上

学校法人 八文字学園 水戸看護福祉専門学校

〒310-0812 茨城県水戸市浜田 2-16-12
